

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2020.11.1
No.183



令和2年市議会第2回臨時会

議会構成を決定
一般会計補正予算を可決
補正後総額315億5,334万9千円

令和2年市議会第3回定例会

令和元年度一般会計ほか各会計決算を認定
議会による事業評価を実施、市長に提言

主な内容

- ◆臨時会の審議結果…………… 2P
- ◆定例会の審議結果…………… 3～4P
- ◆議会日誌、
議会を傍聴しました…………… 5P
- ◆決算審査の概要…………… 6～7P
- ◆委員会審査の概要…………… 8～9P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
…………… 10～17P
- ◆活動ピックアップ…………… 17P
- ◆活動ピックアップ・お知らせ
…………… 18P

臨時会の審議結果

令和2年
第2回

臨時会

10月21日に、市議会第2回臨時会を開催しました。
一般会計補正予算等の議案の審議、監査委員の選任、各常任委員会委員の選任などを行い閉会しました。
また、議会選出の監査委員については、新たに森弓子議員が選任されました。



議長
牧田 秀憲(留任)



副議長
渡辺 義昌(留任)

平素より市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。
今期も引き続き、議長、副議長として役を務めさせていただきます。多様な意見を集約し、公正かつ円滑な議会運営に全力を傾けて取り組んでまいります。
市民の皆様におかれましては、引き続き議会へご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

第2回臨時会において、各委員会の構成が下記のとおり変更されました。

- ◆議会運営委員会 委員長：渡辺 孝男 副委員長：山田 栄
委員：田口 智子 酒向 信幸 片桐 美良
村瀬 正樹
- ◆文教民生常任委員会 委員長：酒向 信幸 副委員長：田口 智子
委員：渡辺 孝男 牧田 秀憲 片桐 美良
村瀬 正樹 柘植 宏一 金井 文敏
- ◆企画建設常任委員会 委員長：高井 厚 副委員長：永田 徳男
委員：坂井 文好 渡辺 義昌 森 弓子
山田 栄 森 厚夫 前田 孝

議会選出監査委員



新たに選任された
森 弓子議員

議案の審議結果

| 議案番号 | 議案名 | 主な内容 | 結果 |
|-------|----------------------|---------------------------------|------------------------|
| 議第87号 | 令和2年度市一般会計補正予算(第11号) | 4,569万4千円の増額、予算総額は315億5,334万9千円 | 原案可決 (全会一致) |
| 議第88号 | 美濃加茂市監査委員の選任について | 監査委員の辞職に伴い、新たに森弓子議員を選任することの同意 | 原案同意 (全会一致) |
| 選第1号 | 美濃加茂市・富加中学校組合議会議員の選挙 | 組合議会議員の辞職に伴う選挙 | 村瀬正樹議員 当選 酒向信幸議員 当選 |

定例会の審議結果

令和2年
第3回

定例会

▶ 補正後総額315億765万5千円の一般会計補正予算案などを可決

市議会第3回定例会は、9月1日に開会し、24日までの会期24日間で開催しました。初日は25案件(請願2件含む)が上程され、提案説明のあと、人事案件などの5議案については、質疑、採決まで行い、8日、9日は14人の議員が一般質問を、11日には各議案に対する質疑を行ったほか、委員会付託を行いました。

付託された各議案の審査のため、14日に予算決算特別委員会、16日に文教民生常任委員会、17日に企画建設常任委員会を開催しました。

24日には各議案に対する委員長報告の後、討論(反対)、採決を行い、定例会を閉会しました。

議案 クローズアップ

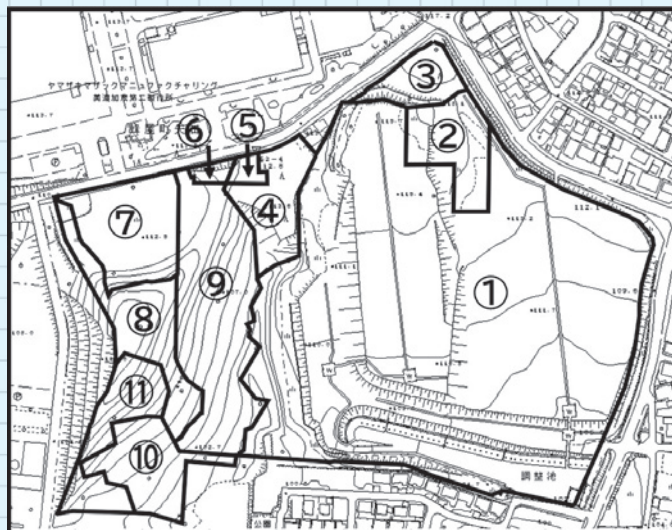
議第82号

町及び字の区域並びに その名称の変更について

第6次総合計画の基本構想に位置付けた「健康」の実現に向けて、公的医療機関としての複数の役割を担う病院とその敷地内に保健センター及び子育て世代包括支援センターを設置することで、この地域を健康増進拠点として市内外に発信する目的で町名変更を行うもの。

議案の概要

| 変更前 | | | 変更後 | | 別図対応 番号 |
|--------|----|---------|----------|-----|------------|
| 町名 | 字 | 地番 | 町名 | 地番 | |
| 蜂屋町上蜂屋 | 石塚 | 3454番5 | 健康のまち1丁目 | 1番 | ① |
| | | 3454番34 | | 2番 | ② |
| | 正洞 | 3555番2 | | 9番 | ⑨ |
| | | 3555番8 | | 11番 | ⑪ |
| | | 3555番67 | | 6番 | ⑥ |
| | | 3555番68 | | 7番 | ⑦ |
| | | 3555番69 | | 8番 | ⑧ |
| | | 3555番70 | | 10番 | ⑩ |
| 蜂屋町矢田 | | 53番1 | | 4番 | ④ |
| | | 53番2 | | 5番 | ⑤ |
| | | 57番1 | 3番 | ③ | |



定例会の審議結果

議案の審議結果

全会一致で承認・可決された議案

| 議案番号 | 議案名 | 主な内容 |
|-------|--|--|
| 承第12号 | 専決処分の承認を求めることについて(令和2年度美濃加茂市一般会計補正予算(第7号)) | 3,784万円の増額、予算総額は309億628万8千円 |
| 承第13号 | 専決処分の承認を求めることについて(令和2年度美濃加茂市一般会計補正予算(第8号)) | 3,866万2千円の増額、予算総額は309億4,495万円 |
| 承第14号 | 専決処分の承認を求めることについて(令和2年度美濃加茂市一般会計補正予算(第9号)) | 1億3,486万8千円の増額、予算総額は310億7,981万8千円 |
| 議第78号 | 美濃加茂市税条例等の一部を改正する条例について | 地方税法の改正に伴い、所要の改正を行うもの |
| 議第79号 | 令和2年度美濃加茂市一般会計補正予算(第10号) | 4億2,783万7千円の増額、予算総額は315億765万5千円 |
| 議第80号 | 令和2年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算(第1号) | 1,290万2千円の増額、予算総額は51億2,775万2千円 |
| 議第81号 | 令和2年度美濃加茂市介護保険会計補正予算(第1号) | 5,057万5千円の増額、予算総額は39億5,381万円 |
| 議第82号 | 町及び字の区域並びにその名称の変更について | 地方自治法の規定に基づき議会で議決を付すもの |
| 議第83号 | 財産の取得について | 条例の規定に基づき議会で議決を付すもの |
| 議第84号 | 市道路線の認定について | 本郷698号線ほか2路線の認定 |
| 議第85号 | 美濃加茂市教育委員会の委員の任命について | 前任委員の辞任に伴う後任委員の任命(武田由美氏 新任) |
| 諮第2号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | 任期満了に伴う後任委員の推薦(今井直樹氏 再任) |
| 諮第3号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | 任期満了に伴う後任委員の推薦(川合伸子氏 新任) |
| 認第5号 | 令和元年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計歳入歳出決算認定について | 歳入3,570万252円 歳出3,439万2,457円 |
| 認第6号 | 令和元年度美濃加茂市古井財産区会計歳入歳出決算認定について | 歳入158万1,362円 歳出89万8,216円 |
| 認第7号 | 令和元年度美濃加茂市山之上財産区会計歳入歳出決算認定について | 歳入130万4,058円 歳出79万502円 |
| 認第8号 | 令和元年度美濃加茂市水道事業会計決算認定について | (収益的収支) 収入16億4,132万5,163円 支出14億3,542万6,726円 (資本的収支) 収入1億7,858万3,769円 支出9億8,267万2,505円 |
| 認第9号 | 令和元年度美濃加茂市下水道事業会計決算認定について | (収益的収支) 収入23億4,513万8,264円 支出22億2,362万7,949円 (資本的収支) 収入11億400万5,776円 支出18億5,995万1,957円 |
| 議第86号 | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について | 令和3年度地方財政対策及び地方税制改正について、国へ要望を求めるもの(全文は5ページ) |

賛否の分かれた議案

| 議案番号 | 議案名 主な内容 | 議決結果 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|
| | | | 永田徳男 | 田口智子 | 坂井文好 | 酒向信幸 | 渡辺孝男 | 牧田秀憲 | 渡辺義昌 | 村瀬正樹 | 高井厚 | 前田孝 | 金井文敏 | 柘植宏一 | 片桐美良 | 森弓子 | 森厚夫 | 山田栄 |
| 請第1号 | 安心・安全な市民生活のため、新型コロナウイルス対策の拡充を求める請願について | × | × | × | × | × | × | - | × | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × |
| 請第2号 | 国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願について | × | × | × | × | × | × | - | × | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × |
| 認第1号 | 令和元年度美濃加茂市一般会計歳入歳出決算認定について | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認第2号 | 令和元年度美濃加茂市国民健康保険会計歳入歳出決算認定について 歳入49億4,469万5,501円 歳出48億6,647万6,180円 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認第3号 | 令和元年度美濃加茂市介護保険会計歳入歳出決算認定について 歳入39億4,317万4,369円 歳出38億9,015万7,164円 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認第4号 | 令和元年度美濃加茂市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定について 歳入5億9,996万6,841円 歳出5億6,875万4,294円 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

≡≡≡ **定例会の審議結果** ≡≡≡

〈議第86号 可決された意見書〉

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがなくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月1日

岐阜県美濃加茂市議会

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

議 会 日 誌 (主なもの)

| | | | |
|-----|---|-----|------------------------|
| 8月 | | 24日 | 予算決算特別委員会(事業評価) |
| 5日 | 新型コロナウイルス対策協議会 | 29日 | 議会運営委員会 |
| 6日 | 令和2年度名濃バイパス建設促進期成同盟会総会(書面表決) | | 予算決算特別委員会(事業評価) |
| 21日 | 国道418号整備促進期成同盟会収支会計監査 | | 議会だより編集委員会 |
| 28日 | 議会運営委員会 | 10月 | |
| | 予算決算特別委員会(抽出事業説明会) | 9日 | 議会による事業評価に基づく提言(市長へ提出) |
| 31日 | 令和2年度可茂消防事務組合議会臨時会 | | 議会だより編集委員会 |
| 9月 | | 16日 | 議会だより編集委員会 |
| 1日 | 市議会第3回定例会(～9月24日) | 20日 | 東海市議会議長会理事会(豊橋市)(書面表決) |
| | 新庁舎建設特別委員会 | 21日 | 市議会第2回臨時会 |
| | 議会だより編集委員会 | 29日 | 文教民生常任委員会協議会(事業説明会) |
| 3日 | 第2回美濃加茂市・富加町中学校組合議会臨時会 | 30日 | 企画建設常任委員会協議会(事業説明会) |
| | (仮)令和2年度洞戸・川辺間主要地方道、県道上野関線改良整備促進期成同盟会通常総会(書面表決) | | |
| 16日 | シルバー人材センター要望受付 | | |

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見を掲載します。

- ・新庁舎建設については、市民に対して大いに耳を傾けてほしい。
- ・新庁舎建設について、市民の希望としてはどこに当たるのか知りたかった。
- ・ミューカード、地域内通貨など新しい言葉について知ることができた。議会は社会勉強の場でもある。
- ・災害対策(避難場所の確保など)やコロナ対策等、今年度は課題がたくさんあり、職員の皆様、議員の皆様ご苦労様です。市民のためによりしくお願いします。
- ・防災公園の整備が進んでいることを知ることができた。また、農業と福祉の連携についても知り、日頃、自分の気づかない部分に注意を向けられた。
- ・事業評価についての質問と答えを聞きましたが、内容が難しく、もっともっと勉強する必要があることを痛感した。

決算審査の概要

事業の進捗や予算執行の状況、議会の予算審議の趣旨が反映されているかなど、適正かつ効率的であったか慎重にチェックしました。また、昨年度に引き続き、第5次総合計画に掲げる事業について、議会として事業評価を実施し、市長に提言を行いました(詳細は18ページ)。

《市一般会計予算》

◆ 歳入

問 法人市民税が前年度より減少した要因は。

答 法人数は増加したが、企業実績が多少落ち込んだことから法人税割額が減り、法人市民税全体として減額になったと考えている。

問 基金運用収入が前年度より増加した理由は。

答 国債や地方債などの債券の売買に伴う売却益が前年度比2倍を超えており、運用益が増えたことによるものである。

問 小学校給食費が前年度より減少した理由は。

答 3月にコロナウイルス感染症により臨時休校になったため、その分は徴収していないことが要因である。

◆ 歳出

問 保育士の待遇面で改善があったか。

答 正職員については、働き方や労働環境をPRしながら採用に努めている。また、4月から会計年度任用職員制度を導入し、非常勤職員には期末手当を支給している。

問 公用車の購入の際、不用となった車の処理は。

答 公用車の使用年数は15年としており、価値がないものは、廃車費用を支出することになる。ただし、大型バスなど特別価値があるものは売却するという方針で行っている。

問 Caminho推進事業の女性活躍推進市民会議の開催回数と、何か政策提言がなされたか。

答 10名の女性にお集まりいただき、5回開催した。今困っていることや、これからの美濃加茂市にとって何が必要なのかといったことを皆さんで話し合っただき、それをアドバイザー会議へ報告し、第2期カミーノ推進事業に反映させている。提言という形ではないが、様々な意見に対し、担当課を交えて協議している。

問 交通安全対策事業において、不用額を生じた工事箇所の理由と件数、その対応は。

答 都市ガス工事等との調整で遅れている箇所や、警察との調整で遅れている箇所がある。件数は、白線や区画線の工事で3か所、着色の工事が1か所である。その対応については今年度当初から、順次施

工している。今後は、計画的に関係機関と調整して実施していきたい。

問 あい愛バスの試験運行の成果は。

答 3公園連絡線と夜便を開設した。3公園連絡線は3か月で721名、夜便については100名の利用者があった。3公園連絡線は、既存の線と併せて公園線として今年10月からダイヤ改正する。夜便については利用が少なかったため、ダイヤ改正には含めない。



3公園連絡線



問 プレミアム付商品券発行事業の商品券販売数が少なかったが、どのようにPRしたか。

答 対象者は住民税の非課税者と子育て世代である2歳までの子供を持つ世帯であった。広報などで周知をしたが、結果として販売数が少なかった。住民税非課税者のため、所得が少ない世帯も多く、購入が少なかったと考えている。

問 コロナ禍の中での幼児療育支援の相談支援業務や療育支援の業務遂行状況は。

答 通所事業等は中止したが、緊急対応や保護者からの相談内容を勘案し、必要に応じて通所指導を行った。また、実際に通所できない場合は、職員が定期的に電話等で連絡し、状況等の把握に努めた。

問 ふるさと農産物育成事業のグリーンセンター2号館の処分に伴う返還金の対応は。

答 平成12年度に国と市の補助金により施行されたもので、償却には31年間必要であるが、平成31年3月末をもって閉鎖したため、補助金返還となった。市においては、国と市の補助分、982万1,805円をJAから納付いただき、そのうち国へ701万5,554円返還した。

問 駅前商業ビル(シティプラザ費)の不用額の詳細は。

答 一つは、契約先の電力会社を切り替えたことによる差金である。さらに、工事請負費について、長寿命化計画に従って大規模修繕を行っているが、先

決算審査の概要

方との話し合いにより、大規模工事の内容を変更し、工事を一部実施しなかった不用額である。

みのかも魅力発信！名古屋交流拠点事業の効果と参加者の費用負担の詳細は。

効果については、広域観光行政の組合を解散しているため、定住自立圏で広域観光を行うことで、関係市町村の連携強化や、圏域の事業者の振興につながった。また、第2次定住自立圏ビジョンで掲げていた名古屋圏との交流促進により誘客が図れた。費用負担については、参加者から平均で半額相当分の約4,500円を徴収した。

道路橋りょう費の堤防除草について蜂屋川での実施状況は。

蜂屋川は県管理河川であり、堤防道路については、道路管理者である市がその道路路肩1メートルという基準で草刈りを行っている。そこから河川側は河川管理者で行っていただくことになる。草の繁茂している箇所については、県へ草刈りの要望を積極的に行っていきたい。

空家等対策事業の状況は。

令和元年度末の空き家の件数は619か所ある。空き家の老朽度によって6段階にランク分けをしており、E、Fランク状況については35件把握している。その中でも、特に周囲の住人等に影響を及ぼしてい

るものについては積極的に家屋所有者の方に案内をしている。

発達支援事業の報酬が予算より少なくなった理由は。

日程調整がつかなかったことや、相談件数が平成30年度に159件あったものが、令和元年度は57件に減ったこと、来ていただいた際の時間数が減少したことによるものである。

いじめ対策事業のハイパーQUの効果は。

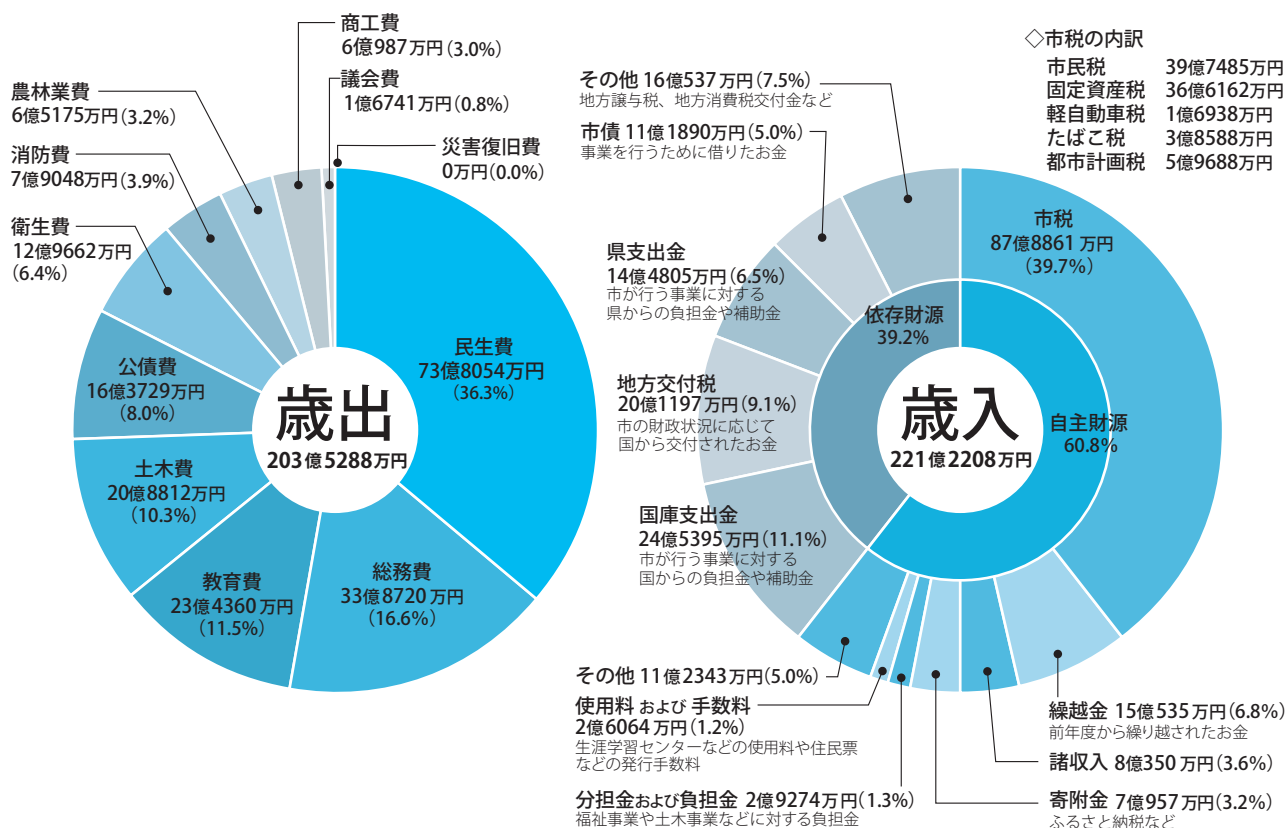
全国の結果と比較すると、美濃加茂市は非常に安定しているという結果が出ており、専門家による研修を各学校で行い、分析や、学校経営への活用に積極的に取り入れている。利用の仕方についても習熟度は上がってきていると認識している。

《市水道事業会計》

ここ数年、供給単価の変動は少ないが、5年前と比べると給水原価が上昇していることや県水の動向なども含め、今後の水道料金の見通しは。

現状の水道事業会計は比較的健全財政を維持しており、今すぐに水道料金を値上げするなどの状況にはないが、断水対策での緊急的な支出や、県水の動向を含め、今後、見直しを予定している新たな経営戦略の中で検討していきたい。

令和元年度 一般会計の決算状況



委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※《 》は議案名、◆は主な内容、()は補正金額

文教民生常任委員会

《令和2年度市一般会計補正予算(第7号)》

- ◆私立保育園施設感染症対策事業(692万円)
公立保育園施設感染症対策事業(544万円)

問 私立保育園施設感染症対策事業及び公立保育園施設感染症対策事業の各事業の詳細は。

答 私立保育園施設感染症対策事業については、1点目が保育園の蛇口の自動水栓化、2点目が保育園の備品、空調設備、消耗品等の感染防止対策を行うもので、県の新型コロナウイルス感染防止対策施設整備補助金(1園あたり50万円を限度)を活用するものである。

公立保育園施設感染症対策事業については、蛇口の自動水栓化のみであり、公立保育園は県の新型コロナウイルス感染防止対策施設整備補助金の対象にならない。

《令和2年度市一般会計補正予算(第9号)》

- ◆高齢者及び介護・障がい福祉従事者応援事業(6,938万9千円)

問 高齢者及び介護・障がい福祉従事者応援事業の商品券交換時交付金の詳細は。また、対象者以外の方が利用する場合は。

答 75歳以上の高齢者の方及び介護・障がい事業所の職員の方々を対象に5,000円分の商品券を配布する。商品券の利用後、登録店舗の事業者は金融機関または市役所の事務局で商品券を換金するという流れである。対象者が施設に入っている等、本人が商品券を利用することが難しい場合もあることから、対象者のためにご家族が代わりに商品券を利用することについても許容している。



▲特別応援商品券ポスター



▲特別応援商品券チラシ

《令和2年度市一般会計補正予算(第10号)》

- ◆私立保育園運営費等補助事業(2億4,140万9千円)

問 認定こども園となる、たから幼稚園への入園の申込み方法は。

答 認定こども園となるのは、令和4年度からであるためまだ詳細は決定されていないが、公立保育園、私立保育園と同じ時期に入園説明会を行う形になると考えている。従来は幼稚園に直接入園の申込みを行っていたが、令和4年度からは認定こども園となるため、市役所に入園の申込みをしていただく形となる。



- ◆情報教育推進事業(4,731万5千円)

問 小中学校で今回購入する、プロジェクターの使用方法は。

答 現在、使用しているプロジェクターについては、特別教室で使用する予定である。新規に購入するものについては、すべての普通教室に設置することを考えている。完全に固定するため壁掛けや吊り天井のタイプを想定している。当初予算で購入を予定していた90台と、今回の補正予算分で購入する111台を合わせて、合計201台の購入を予定している。

《国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願について》

・反対の主な意見

本請願が新型コロナウイルス感染拡大防止に対して、果たして有効であるのか疑問である。教育現場では、先生の指導もあり感染防止対策はしっかりと行われており、早急に20人学級にする必要はない。人数が少なくなったから授業がはかどるということではなく、指導員を増やすことで授業を充実したものにする形もある。本請願の学級の人数を「20人程度」という緊急性の訴えは曖昧であり、具体性が無い。

委員会審査の概要

企画建設常任委員会

《令和2年度市一般会計補正予算(第7号)》

◆歳入

問 国庫支出金の詳細と事業によっては予算が残る場合もあると考えるが、国に返還するのか。

答 本年度はこれまでに新型コロナウイルス対策、GIGAスクール構想等に関連した補正予算を、約8億3,050万円計上している。一般財源ベースでは6億2,710万円の補正額となる。この内、約8割にあたる4億8,690万円は国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当している。国からの交付金は、これまでの合計が5億8,435万2千円であり、残りは9,750万円となる。交付金については、基本的に返還することはないので、他の事業に充当する予定である。

《令和2年度市一般会計補正予算(第9号)》

◆生活必需品小売店舗等支援事業(1,300万円)

問 生活必需品小売店舗等支援事業の現状は。

答 当初予算で2,000万円、今回の補正予算で1,300万円、合計3,300万円計上している。申込件数が多く、9月30日まで申請期限を延長しており、9月16日時点で申込件数が561件、金額が2,805万円である。

《税条例等の一部を改正する条例について》

問 市たばこ税改正の主な内容は。

答 軽量の葉巻たばこについて、製品特性を踏まえた課税方式に見直すもので、1グラム未満の軽量な葉巻たばこについて増税するものである。

《令和2年度市一般会計補正予算(第10号)》

◆農業用施設事業(8,755万2千円)

問 稲葉池及び枳ヶ洞池転落防止柵取替の詳細は。

答 現在、両池とも木製の柵であるが、損傷が激しい状態である。新たに鉄製パイプにプラスチック樹脂を被覆した擬木に全部取り替える予定である。



損傷している柵(稲葉池)

◆アンテナショップ運営補助金(300万円)

問 アンテナショップ運営補助金の詳細は。

答 新型コロナウイルス対策として、IT化、ネットワーク化を進めるために、市内の特産品を取扱う新しいマーケットを楽天市場に開設するものであり、12月上旬に開設できるよう準備を進めている。

◆かわまちづくり整備事業(1,100万円)

問 土木費の中之島公園等整備について、承第13号、災害復旧費の工事請負費との関連は。

答 災害復旧費については、先日の7月豪雨の被害による堆積土砂の除去に対するものである。土木費については、公園内の園路舗装等を行う予定で、県に補助金を申請していたものであり、今回採択をいただいたため予算計上したものである。よって、両事業は別の内容である。



舗装予定の園路

◆地域防災力強化事業(679万2千円)

問 購入する備品の詳細は。

答 簡易トイレについては、薬剤など同封のビニール袋のセットを1万回分購入する。マットレスについては、初期及び一次避難所の9カ所に各20個の配備を予定している。合計で180個の購入を考えている。

《安心・安全な市民生活のため、新型コロナウイルス対策の拡充を求める請願について》

・賛成の主な意見

他の自治体では、無症状者でもPCR検査を何度でも受けることができる制度がある。本請願が採択されたらすぐに物事が解決するわけではないが、今の状況を押し力となり、マイナスにはならない。

・反対の主な意見

本請願の内容は、国が進めているものや、国や県の動向を確認して検討しているものなど既に対応が行われている。また、市独自でも避難訓練の実施や、新たに防災マニュアルを作成するなどの対策を講じているため、不採択でよいと考える。

市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登壇し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



牧田秀憲議長

美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索

議会中継



視聴方法

トップページ

会議名一覧

令和2年第3回定例会

9月8日・9日 一般質問

会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



渡辺孝男 議員

今年度の税金を含めた今後の見通しは

問 第6次総合計画で全ての健康のために新たな一歩を踏み出す予算編成が組まれているが、コロナ感染症で経済情勢が不透明な中、今後の事業の見通しは。

答 全ての事業のキーワードに健康を取り入れ進める。今回のようなコロナ禍だからこそ、美濃加茂市の未来のために、市民と共に未来をつくる事を発信する。そのために今後、みのかも健康の森、ぎふ清流里山公園、リバポートパークを南北の健康自然ラインとして整備を進めるとともに、今回新たに前平公園、文化の森、牧野ふれあい広場を東西の健康交流ラインとして位置づけ、財政健全化を維持しながら健康をテーマに重点整備をしていく。

成年年齢引き下げに伴う市主催の成人式について

問 令和5年度からの成人式の在り方についての考えは。

答 令和5年1月の成人式以降の開催については、全国的な状況や、本市独自で行ったアンケート結果を踏まえ、従来通り20歳を対象にして継続していく。今後「成人式」という名称から、若者が未来に希望を持てるような名称に変更したいと考えている。

問 コロナ感染症問題の中、来年の成人式は。

答 感染症防止のため、複数回の開催や会場分散など開催に向けて検討してきたが、市民の皆様の健康と安全を最優先に考え従来の式典は中止し、コロナ禍における成人式の新たな取り組みについて様々な検討を、成人式実行委員会と進めている。

新庁舎建設について

問 市民に方向性を示す考えは。

答 美濃太田駅周辺での整備に向け、調査・研究を進めて良いと、議会で判断されたので、今年度予算を活用しながら積極的に調査・研究を行う。これらの結果がある程度明確になった段階で、市民説明会を開催して、市としての方向性を明確に示した上で、市民に理解していただけるよう丁寧に説明したいと考えている。

≡≡≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡≡≡



金井文敏 議員

「新しい生活様式」の具体化について

問 文化芸術・スポーツ活動継続に向けた支援の考えは。

答 芸術・文化やスポーツなどの社会活動は、身体の健康や心の健康のほか、コミュニティの形成にもつながり大変重要なことである。前向きな気持ちになれる取り組みも考えたい。

問 オンライン予約システムの考えは。

答 それぞれの施設で、それぞれの利用者に合った運用を行っているため、使用方法の統一ができていない現状がある。将来的にはマイナンバーカードと結び付け、キャッシュレス決済などのシステム改善も踏まえ、より利用者目線を重視した研究を続けたい。

問 医療や住まい、交通などがアクセスしやすいサービスを、地域限定で整備する考えは。

答 アフターコロナの社会を考えていくうえで、最も重要な軸になるのは日本全体を、これまでの「都

市集中型」のシステムから「地方分散型」のシステムへと転換していくことにある。医療・福祉・商業施設や住居等がまとまって立地し、「各地域の資源」や「つながり」を大切にしながら、高齢者をはじめとする、あらゆる世代の皆さんが公共交通等により、安易にアクセスできるような社会を築こうとしている。

問 空き家を利活用したワーキングスペースの整備や住宅整備の今後は。

答 本市では、サテライトオフィスの拠点整備を「新たな企業誘致」と前向きに捉え、市内の宿泊施設や空き店舗、空き家などの地域資源を活用し、都市部の企業等のワーケーション^{*}やリモートワークに対応できるワーキングスペースを整備したいと考えている。現在、候補地を選定している。民間ベースで空き店舗や空き家をリノベーションされ、ワーキングスペースを整備された場合には、通信環境やOAフロア化等の経費の一部を助成することを検討している。これを契機に、空き家等の利活用を積極的に促進していきたい。

^{*}ワーケーション…「ワーク(労働)」と「バケーション(休暇)」を組み合わせた造語で、働きながら休暇をとる過ごし方。



田口智子 議員

子どもたちの安全について

問 子どもたちは大変厳しい猛暑の中での下校となった。各学校での熱中症対策の取組は。

答 傘さし登校やランドセルの中身を軽くするなど、の対応を徹底した他、下校前に塩タブレットや塩こぶの配布、保護者の送迎を奨励して引き渡しとした。また、職員の下校引率などの実態に合わせた対応も行った。



傘さし登下校の様子

問 今後の様々な気候変化による登下校の対応は。

答 登下校による生命の安全確保は最優先で行わなければならない。警報が出ていなくても大雨や雷雨

に細心の注意を払って学校待機、場合によっては引き渡しを行っている。学校間で情報交換、連携を密にして、アプリを使い雨や雷について予測するなど、どの学校も子どもの安全を第一に考えた判断が出せるように指導している。

問 あい愛バスをスクールバスとして使用する考えは。

答 あい愛バスが市内全域の通学路を網羅していないこともあり、一律に利用するという事は難しいが、今後は検討していきたい。

地域内通貨についての考えは

問 今後の地域経済の活性化に向けて地域通貨^{*1}の導入や、ミューカード^{*2}のリニューアルの考えは。

答 本年7月以降、地元の民間事業者や金融機関を交えて、デジタル地域通貨の導入に向けた協議を進めている。ミューカードの課題を整理しながら、スマートフォンベースのデジタル通貨を、近い将来に導入したいと考えている。

^{*1} 地域通貨…特定の地域内、コミュニティ等において流通する、地域コミュニティ活性化の為に地域限定の貨幣。

^{*2} ミューカード…美濃加茂ポイントカード会発行のポイントカード。



前田 孝 議員

新庁舎建設問題について

問 住民説明会の日程発表の記者会見について及び説明会開催にあたり3密に対する対策、また説明会の内容は。

答 説明会開催の必要性は十分認識しているが、新型コロナウイルス感染症の状況によって、3密を避ける必要が有り現時点では詳細決定をしていない。又3密を避ける対策は、交流センターでの開催は困難であるため、小学校の体育館を活用するなど密集を避ける。説明会の内容は、4候補地の比較と共に、市としての方針を明確に伝える。

問 建設用地選定にあたり、議会での「市民の皆様」に理解していただけるように丁寧に説明をする」との答弁があるが、市民が理解されたかどうか他市でも行われている住民投票での意向調査が必要と思うが。

答 市民ワークショップや市民アンケート、未来のまちづくり委員会など通してご意見をいただいて、

最終答申へと繋がっているため、あらためて意向調査を行う予定はない。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 感染症が広がらないように制御するために医療介護・福祉・保育・学校などで働く人達への定期的なPCR検査や、感染震源地に網羅的に検査ができる体制の確立と社会的検査を行政的検査にするよう要請することについての見解は。

答 感染拡大防止の先手を打つためには、そのとおりであり、8月18日の厚労省の通知に、行政検査枠の範囲を拡大する見解が示されている。

問 PCR検査希望者に対する検査料の補助制度についての見解は。

答 希望者に対して検査を行う体制に至っていない。又検査料の補助については現段階では考えていないが、制度や体制の変化を確認し検討していく。

問 軽症者・無症状者の受け入れ施設について、中濃圏域での現状は。(施設・利用状況・ベッド数)

答 後援支援施設1カ所62室が確保されている。



森 厚夫 議員

新庁舎建設について

問 新型コロナウイルスに対する危機管理は。

答 新庁舎には、感染症対策を講じる必要があると認識している。新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策は、市民や市職員の命を守るために必要な整備であると考えている。今後、基本設計や詳細設計を進める段階でしっかりと調整する。

【新型コロナウイルス感染者数】 令和2年10月20日現在(累計)

| 世界全体 | 国内 | 県内 | 市内 |
|-------------|---------|------|-----|
| 40,251,950人 | 93,480人 | 647人 | 34人 |

(WHO/厚生労働省/岐阜県/美濃加茂市/HPより)

問 防災拠点としての危機管理は。

答 一番重要な点は、防災拠点としての機能を存続させることであり、今後、想定される大規模地震や水害など様々な災害に対して、役割がしっかりと果たせるよう万全の対策を進めていく。

問 1988年オープン「シティホテル美濃加茂」設立

趣意書についての所見は。

答 多くの目的を持った都市型ホテルの建設に努力するとされており、ホテル事業やコンベンション事業などを中心に、多くの方に利用いただいており、美濃太田駅前のシンボルとして賑わいの拠点として意義のある事業であったと思っている。

問 30年間分の駐車場借上料についての詳細は。

答 職員駐車場は330台で年間1,380万円、賑わい創出のために必要な駐車場は100台を想定しており、年間約400万円と考えている。公用車の駐車場は、市の土地であり借上料は発生しないため、仮に30年間借り上げた場合には、総支出額は5億4,300万円となる見込みである。

問 市民の理解を得るための意向調査の実施は。

答 新庁舎整備基本構想の策定段階から、多くの市民の皆様からご意見をいただきながら新庁舎の整備候補地を絞ってきた。市民ワークショップや市民アンケート、基本構想策定委員会や未来のまちづくり委員会などを通して、多くの市民の皆様からご意見をいただいて、中間答申や最終答申へと繋がってきていることから、こうしたご意見等を大切に、十分に反映させながら事業を進めていくことを考えているため、意向調査を実施する予定はない。

≡≡≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡≡≡



村瀬正樹 議員

蜂屋調整池の破堤と浸水について

問 地震による破堤の心配は。

答 水資源機構に確認したところ、平成31年2月に耐震性能を調査しており、震度6弱程度の揺れによる解析では、耐震性を有しており、想定した地震による堤体の著しい変形の可能性は低いとされている。

問 豪雨時の湖面上昇による流出はあるか。

答 流入量の調整は、白川取水口により行われており、必要以上に流入することはない。周辺の豪雨での流入水による水位上昇時には、余水吐きから蜂屋川に流出するもので、越水は無いと水資源機構から伺っている。

問 破堤時、ハザードマップによる浸水の最大の深さは。

答 万が一破堤した場合、60分後の浸水状況は、ほとんどが深さ0.2mから0.5mであり、最大1mから2mのところもある。マップは平成28年度に作成

したもので、信頼に足るものであると考えている。

問 点検者と点検方法は。

答 施設管理者である水資源機構が、週2回の目視点検、月1回の堤体地下水位の確認、年1回の変位観測を行っている。

新庁舎建設について

問 第2回地区説明会のもち方は。

答 3密を避ける必要があるので、交流センターでの開催は困難であると思われ、小学校の体育館活用も考える。開催の周知方法も、多くの市民に情報が行きわたるように努める。

内容は、4つの候補地についての詳細説明を求める意見もあったので、分かりやすい資料を準備し、丁寧に説明したいと思う。

問 建設地の「議会における議員による議決」の時期は。

答 「美濃加茂市役所の位置を定める条例」の改正については、議会の新庁舎建設特別委員会での十分な議論や、市民への丁寧な説明と情報開示を進める中で行う必要があると認識している。



永田徳男 議員

新庁舎整備事業について

問 新庁舎整備事業の本体工事の予算は。

答 新庁舎の建設費用は、どこに建設するか、付帯設備が必要か、構造や事業手法の変動があるため、具体的には示せないが、他市の事例から想定した場合、庁舎本体のみの費用は、45億から50億円程度で、既存施設を有効活用し建設費の圧縮に努めたい。

問 「立地適正化計画」で、国の補助メニューが活用できる場所は、4つの候補地のどこであるか。

答 「都市機能誘導区域内」にあるのは、「現庁舎周辺」「美濃太田駅周辺」の2カ所で、ここでの「立地適正化計画」での施策に対しては、補助制度について有利に進められると思われる。

問 「休業又は、廃業等の企業・お店に対する救済」の国から保証される補助メニューはあるのか。

答 「市街地再開発事業」にある、社会整備総合交付金で行うことが多く、国の定める基準のなかで、保証されるものと考えている。

市道の整備について

問 森山一川合の市道480・327・321・206号をつなぐ、遊歩道としての整備の考えは。

答 提案された遊歩道は、第6次総合計画に掲げた『Walkable City Minokamo 健康増進につながる施策』となる事業であり、小山観音など観光スポットが点在し、線で結べば楽しめる遊歩道である。現在、市として計画はないが、「歩く」という10年間の課題の中で、健康を保つことが、国保負担の軽減につながるものと考え、先行投資効果のあるものとして、充分検討できる。



提案する飛騨川遊歩道

市政一般に対する質問と答弁



森 弓子 議員

自治会要望のあり方について

問 市管理地の排水路の泥上げや草刈りの要望に対して「有償クリーンパートナー制度」を創設し、自治会等の団体が、有償ボランティアとして活動してはどうか。また、災害未然防止のため、用排水路の泥詰まりの実態把握をすべきでは。

答 クリーンパートナー制度の趣旨は住民自らの手で公共施設の清掃美化活動を自主的に行うことであり、市ではクリーンパートナー制度の有償化は考えていない。市民と行政が協働で環境美化に取り組むことが重要と考え、より活動しやすい制度となるよう改善に努めたい。道路側溝や農業用排水路の維持管理については、行政だけでの対応は困難であり、地域の皆様や利用者の方々のご協力に感謝している。

高齢者のコロナ・熱中症対策について

問 猛暑の夏には、エアコンは必需品だと考える。

高齢者世帯等のコロナ・熱中症対策として、エアコン購入補助の考えは。

答 本市では高齢者を対象としたエアコン購入助成制度はないが、先進自治体の状況等を調査研究し、より安心できる生活対策を考えていきたい。

小中学校の課題について

問 待機児童が激増している放課後児童クラブの教室不足は、プレハブ教室を建設することで解消できないか。

答 放課後児童クラブの充実は、女性の社会進出を支える事業の一つとして、カミーノ事業に挙げている。地域の施設や建物の活用を検討しているが、プレハブの建設についてもよく検討する。

問 中学校の女子制服のスカートをスラックスと選択できるようにしてはどうか。

答 世の中はジェンダーレスの意識が高まりつつあり、小学校では男女混合の名簿を活用し、中学校ではジャージの色や形を同一にするなどの対応がされ始めている。スカートやスラックスを選択できるようにすることは意味深いことで、諸問題に対応しながら、認めていくべきであると考え。



酒向信幸 議員

防災公園について

問 地震災害や地震による火災等の二次災害に備えるには、地域の避難場所や防災活動拠点の整備だけでは不十分である。多くの避難者や救護物資を収容するためには広大なスペースが必要である。公園には広大なスペースがあり、誰もが立ち寄れる特徴を持っている。

これは防災という観点において非常に重要な役割を果たす。防災公園を整備することは災害に強いまちをつくるために必要であると考え、整備に対する考えを伺う。

答 市の地域防災計画において「防災拠点の整備」上の「防災公園」として、牧野ふれあい広場を地域防災拠点に位置付けており、防災公園兼陸上競技場を有する都市公園として整備を進める計画となっている。今後は、救助救援隊、物資搬入等の大型車両が通行可能であるかどうか、あるいは備蓄倉庫の設置などに係る検証及び整備について、スピード感を

持って進めていく。

問 本市における防災公園に対する構想を伺う。

答 前平公園、文化の森、牧野ふれあい広場の東西を結ぶ防災ラインとして整備を進めたい。現在牧野ふれあい広場には太陽光の拠点があり、本市と設置者との間に非常時の電力の協定を結んでいる。電力供給、避難場所として有効な場所として5年計画で進めている。文化の森には住民基本台帳のサーバーのバックアップ機能が設置してあり、非常用発電施設を整備して災害時の罹災証明書等が発行できる体制を整えている。前平公園の西側にバイオマス発電所の建設が計画されており、1万6千世帯の電力供給が可能となっているので、本市としても連携して公園全体を避難場所として整備をしていきたい。

今後については、マイクログリッド**計画の導入で災害時の大規模停電時に太陽光、バイオマス発電の電力を停電エリアに供給できるシステムを進めていきたい。

**マイクログリッド…大規模発電所からの電力供給に依存せず、コミュニティでエネルギー供給源と消費施設を持つ小規模なエネルギーネットワーク。

市政一般に対する質問と答弁



坂井文好 議員

農業と福祉の連携について

問 働き先として、農業分野への就労は。(福祉の面から見て)

答 福祉分野においては、生活困窮者自立支援法に基づく就労準備支援事業で、就労継続支援事業を利用している方や一般就労が困難な方を対象に、平成30年度後半から山之上町の農家や可茂森林組合等の協力を得ながら、農福連携、林福連携に関するプロジェクトを進めている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、先月再開したばかりであるが、地域で自立した生活を実現するためにも、就労準備支援事業等における農福連携等の取組みを、多くの皆さんの更なる理解を得ながら推進していく必要があると考えている。

問 農業の担い手として、障がい者や高齢者の雇用は。(農業の面から見て)

答 現在策定中の農業ビジョンにおいて、多様な担い手の育成は重要な柱のひとつであり、障がい者の

方に加え、高齢者の方を含めた農福連携の取組は、農業分野における人材不足の解消だけではなく、就労される方の「生きがいづくり」や「健康づくり」といった様々な効果が期待されるものと考えている。

本市では、既に山之上の農家と障がい者の方によるマッチングが行われ、実績を上げている事例がある。全国的にも高齢者の健康状態や希望に合わせた農業や農的活動が行われている。

現在、めぐみの農協において、農業に従事したい方と人材の欲しい農家とのマッチングが、民間企業を活用し活発に行われていると伺っている。今後、県等の関係機関とも連携して、このような取り組みが広がっていくよう農業ビジョンにおいて、しっかりと位置付けたいと考えている。



ローゼルの苗植え作業の様子



柘植宏一 議員

議会による事業評価について

問 議会改革の一環として平成28年度より実施してきた議会による事業評価の成果および課題は。

答 議会による事業評価は、いわゆる第三者の視点からの評価と同様であり、行政のみの判断だけでなく客観的な視点から判断できる貴重な場であると認識している。事業の成果指標の見直しを行った事業もあるなど、いくつかの事業において改善等の成果も見受けられたが、事業内容について議論を深めることができているケースもあるため、事業ごとに時間をかけて評価をしていくことが必要ではないか。

問 7月29日に専決処分された補正予算第9号の「高齢者及び介護・福祉従事者応援事業」に関して、29日の新聞折り込みに「特別応援商品券取り扱い店舗募集」と題されたチラシがあった。予算執行上の問題があると考えるが。

答 今回行ったチラシの作成及び新聞折込について

は、事前準備行為として執行できると思い事務を進めたものであるが、改めて地方自治法などを確認したところ、議員ご指摘のように誤認であることが判明した。私どもの認識不足であり、今後二度とこのようなことが起こらないよう徹底していく。

女性の社会進出について

問 教育分野における課題と方策は。

答 中学校の体育の授業は体力差等を考え、男女別が通例だったが、東中や双葉中では男女共修とし、性差の関係なく一緒に授業を行っている。

課題としては、以下のとおりである。

- ①教室環境では男女を区別する必要のないところで区別の表示がないか
- ②教師が男女別の役割を決めてしまったり、児童生徒も無意識の中で男女別の選択をしてしまったりしていないか
- ③教職員の校務分担に男女で固定化してしまう内容があり、児童生徒が身近で見て当然と思うことがないか

今後、学校教育の中でどのような男女共同参画教育を具現していくかといったビジョンを明確にしていく必要があると考えている。



高井 厚 議員

児童生徒の登下校中に
大きな地震が起きた場合の対応について

問 登下校中の大地震発生時の動き方は児童生徒に
どのように指導しているか。

答 小中学校では日ごろより落下物のないところに移動して、身を守るシェイクアウト訓練を行っており、とっさに身を守る行動ができています。次に、学校と家庭とで近い方に戻ることを指導している。どちらに戻るかは状況による場合もあるが、学校によっては中間地点を確認しているところもある。最悪の場合は、家以外の集合場所を家族と確認しておくよう指導している。

問 保護者にはどのように伝えてあるのか。

答 各学校がそれぞれの方法で説明している。警報発令時の文書と一緒に配布する、HPに掲載する、学校だよりで触れるなど対応はまちまちである。実際に親子参観と一緒に登下校しながら安全確認するところもある。しかし、本年度はコロナ禍で、地震

についての対応が十分でない学校もあるので、再徹底を指示したところである。

問 110番の家や日ごろ児童生徒の見守りをしている人々への周知は十分か。

答 110番の家の存在は大きいものがある。大地震も含め、緊急時に子どもが助けを求めてきた場合には、保護するとともに、学校や警察、消防、家庭などの関係機関と連絡を取っていただくようお願いをした。しかしながら、こども110番の家や日ごろ見守りをしている方とは、具体的な場面を想定しての話し合いはできていないのが実情なので、今後、方策を考えたい。

問 地域にはコンビニや各種事業所もあり、一時避難や情報提供などの協力があると心強い。連携についての考えを。

答 本年度から、コミュニティスクール設置に向けて小学校2校で動き出している。5年後には全小学校に設置を目指している。今後はこうした組織をうまく活用して、地域との連携を生み出せるようにしていきたい。



渡辺義昌 議員

Withコロナについて

問 「新型コロナ対策実行中!」ステッカーの詳細は。

答 本市のステッカーの配布数は313件、その内の飲食業は95件である。今後も、感染防止対策を徹底し、市民の皆さんに、安心してご利用いただけるよう、ステッカー交付の周知に努めていきたい。

問 学校の学期の変更による授業日数、授業時間、
学業の遅れについての対応は。

答 本年度、学校の1学期は71日間の計画だったが、新型コロナウイルス感染症対応で、2週間の分散登校を経て通常登校となった。本年度の1学期は9月末日までとしているので、71日間となり、1学期の内容を学ぶのに十分な時間の確保となる。

10月以降についても「冬季休業日を短くする」「1日の時間数を増やす」「帯時間を活用する」「学校行事を精選する」などの工夫により、学習時間を確保しながら本年度内に履修が完了するよう進めていく。

情報化社会における新庁舎について

問 各種申請書の電子化、オンライン対応についての
詳細は。

答 各種申請書様式は、市ホームページにて、ダウンロード可能となっている。現在、「図書館の図書貸出予約」「文化・スポーツ等生涯学習施設の利用予約」「地方税申告手続(eLTAX)」「入札」はオンラインにて手続きが可能となっている。

11月からはマイナンバーカードを利用して、住民票写し、印鑑登録証明書、所得証明書等のコンビニ交付を開始する。

今後の電子化について、昨年庁内において、自治体のICT化について考える「スマート自治体化プロジェクト」を発足し、20年後の2040年を見据えたビジョンの作成を始めた。

新庁舎においては、申請の多くについてオンライン化(電子化)することとし、市民が来庁する必要のない環境の構築を目指す。

市政一般に対する質問と答弁



片桐美良 議員

伊深の旧村役場と櫻井邸の活用について

問 旧村役場カフェの反省点は。

答 運営者との5項目の委託業務評価としては、各項目において一定の評価をしている。しかし、地域との連携が十分ではない状況が見受けられ、目的を共有する地域と共に取り組むことができなかった。

問 今後の活用の考えは。

答 反省点を踏まえ地域との連携を図りながら、市北部の文化や里山資源を活かした活用を目指し慎重に進めている。

問 中山道会館内のお休み処「やどりぎ」には、カフェのノウハウや資格のある伊深住民の方が4人いる。この方々を中心に「やどりぎ2号店」として運営を行っていく考えは。

答 現在は試験的な運営を計画中で、関係者に対して呼びかけてみる。

問 櫻井邸の耐震、劣化診断の結果と対策は。

答 劣化の状況は、主に床下や屋根、壁などに白ア

り被害や腐食が多くみられた。一般的な耐震診断では「倒壊の可能性が高い」、古民家専用の耐震診断では「やや危険」と判定された。今年度、雨漏りなどの改修、来年度は、安全性の確保と最低限の利用ができる状態にする。

問 当面の管理は。

答 ワークショップや体験以外でも、出入りする機会を増やすなど、まちづくり課でも定期的に風通しを行い大切に管理していく。

保育園・認定こども園の入場選考基準について

問 定員に達してなく、町外から多数通園されているのに、希望する地元園に入園許可されない例がある。地域としても園の活動に協力しているのに「なぜ」との声もある。そこで、選考基準に地元ポイントを付けられないか。

答 保育の必要度による優先順位の高い児童から順に、希望する園への利用決定をしている以上難しい。

問 保護者にもっと丁寧な説明が必要ではないか。

答 入園基準を保護者に納得いただける説明ができるように努める。

活動
ピックアップ

新型コロナウイルス対策への
支援に関する要望書を市へ提出



美濃加茂市議会は、令和2年7月17日に、新型コロナウイルス感染症対策に関する支援についての要望書を市へ提出しました。

【主な内容】

- ・医療関係への支援
- ・高齢者への支援
- ・経済対策を通して、事業者・市民への支援
- ・全世帯への公共料金（水道基本料金）免除
- ・教育現場への支援

一日でも早い新型コロナウイルスの終息と、市民が安心して元の生活を送れるようになることを願います。

～議会による事業評価～ 今年度の提言を行いました。



市議会では「予算決算特別委員会」を設定し、予算と決算の総合的・一体的な審査を行っています。その活動の一環として、議会が市の各事業を個別にチェックする「事業評価」に取り組んでいます。

今年度も、対象事業の抽出やそれぞれの事業に対する評価などについて審議を重ね、10事業について議会としての意見を付し、市長に直接提言をしました。これらの提言が、執行部において十分に検討がなされ、来年度の予算や各事業の取り組みに反映させることを求めています。

今後も、この提言に基づく予算や事業への反映について、執行部から報告を求めるとともに、引き続き調査を行ってまいります。

令和2年度 議会による事業評価 提言一覧


| 事業名 | 評価 | 提言の主な内容 |
|-----------------|----|--|
| 放課後児童健全育成事業 | 拡充 | ・国が指導する「新・放課後子ども総合プラン」に沿って放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的実施を図るべく、放課後児童クラブの直営化の検討も含め、総合的な対策を講ずべきである。 ・こども課、教育総務課、教育委員会、PTA、地域住民と課題の共有を行うべきである。 |
| 小規模特認校制度推進事業 | 継続 | ・小規模学校の良さ、特色のさらなる工夫と外部への発信と充実。 (例：自然と調和した教育課程の編成、中山間地留学、スクールバスの開設) |
| 旧伊深村役場庁舎活用事業 | 継続 | ・特に全伊深住民との連携の見直しと推進対策に努められたい。 |
| 多文化共生推進事業 | 拡充 | ・外国人市民満足度調査を実施し、当事者ニーズの把握に努められたい。 |
| 特定健康診査等事業費 | 継続 | ・受診率が低いのは、別の医療機関での受診健診数が加えられていないからであるため、全体の正確な受診者を把握すべきである。 ・健診率向上に向け、メディア等を活用し、PR・啓発を図られたい。 |
| インバウンド推進事業 | 継続 | ・アフターコロナを見据え、環境整備を含め推進方策を積極的に進める(積極的な情報発信も含め)。 ・市内にある民間資本による資源の充実をインバウンド推進の好機と捉え推し進める。 |
| 大学との連携推進事業 | 継続 | ・費用対効果として、目に見える成果を明確にすること(Uターン学生、採用した事業の効果など)。 ・学生の考えも含め、市民との意見交換会等を実施すること。 |
| 空家等対策事業 | 拡充 | ・今後、少子高齢化が一段と進み、空き家が増えることが懸念されるために、市独自の空き家条例を早急につくり管理することが必要である。 ・老朽危険空き家を特定空き家に認定し、法に基づく指導、勧告、命令などの措置を積極的に行うこと。 |
| 美濃太田駅周辺市街地再開発事業 | 拡充 | ・再開発事業予定エリアについて、具体的に何をするか明確にすること。 ・賑わいの創出のため、誘客が図れる施設の誘致を検討すること。 |
| 災害時情報伝達体制確立事業 | 拡充 | ・ハード整備も重要であるが、市民の方が日頃から災害に備えることを認識していただく方が必要。 ・ホームページからの情報発信など、情報ツールの拡充を図ること。 |

本会議の様子は、議会中継でチェック!

市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でぜひご視聴ください。

美濃加茂市議会 議会中継 アドレス
<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継



議会中継

次の定例会の予定

令和2年市議会第4回定例会

| | |
|-----------|------|
| 11月30日(月) | 初日 |
| 12月8日(火) | 一般質問 |
| 9日(水) | 一般質問 |
| 10日(木) | 質疑 |
| 18日(金) | 最終日 |

場所：市役所本庁舎3階 議場
 時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)
 ※日程は都合により変更となる場合があります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

森羅万象の中、気候変動による災害対応に加え、新たにコロナ禍における新生活様式をふまえ、さらにきめ細やかな政策が必要になってきました。

今年度からスタートした第6次総合計画では、歩くこと・健康をテーマにした【Walkable City Minokamo すべての健康のために 歩き続けるまち】の一連の環境を整備していきます。限りある予算が効果的に投入されるように、取り組んでまいります。

森 弓子

第3回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科の生徒さんによっていただきました。テーマ「しあわせを運ぶ青いブーケ」

次回の議会だよりは、令和3年2月1日を予定しています。
 ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

発行 美濃加茂市議会
 編集 議会だより編集委員会 〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田3431-1
 ホムページ <http://gkai.city.minokamo.gifu.jp>
 メール gkaijoken@city.minokamo.gifu.jp
 TEL(0574)25-2111 内線281 FAX(0574)28-1106

